別紙2

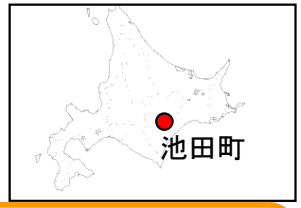
地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（計画策定に係る事業）

令和　7年　1月　7日

協議会名：池田町地域公共交通活性化協議会

①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針
【事業内容】 ・コミュニティバス（あいバス）の利用者データ分析、運行計画の見直し検討及び利便増進計画（案）の取りまとめ ・住民意見交換会 ・協議会開催 【結果概要】 ・コミュニティバス（あいバス）の利用者データを分析し、利用実態を把握した上で運行計画の再編案を作成した。 ・作成した再編案を基に、町民との意見交換会を開催し、再編案に対する意見を聴取した。 ・聴取した意見を踏まえ、運行計画の再編案を再度検討した。 ・今後は、再編案に関連する取り組みを精査し、素案を作成する。その後、パブリックコメントの実施や協議会での検討を経て、令和6年度末に「池田町地域公共交通利便増進実施計画」として最終的に取りまとめる。	A	計画通り事業は適切に実施されている。	●対象区域　池田町内全域 ●計画期間　令和7年度から令和10年度 ●基本的な方針 町民の暮らしをつなぎ　安全安心住みよいまちの実現に寄与する　交通を目指して ●基本目標 　1　市街地における生活利便性向上に寄与する“あいバス”の運行内容の継続的改善 　2　JRや十勝バス路線の維持確保に向けた協力体制の継続的構築

池田町地域公共交通活性化協議会　令和5年4月12日設置



概　要

人口減少や少子高齢化の進行、自家用車への過度な依存により公共交通の利用者が減少傾向にある中、今後も町民等の移動手段を確保するためには、これまでの公共交通のあり方を見直し、利用者ニーズに合った使いやすいシステムの構築が求められます。特に、都市機能が集積する市街地を循環するコミュニティバス（あいバス）の利便性向上に向けては、地域公共交通利便増進事業を活用し、町民の移動ニーズに応じた運行内容の見直しなどを行い、持続可能な交通ネットワークの構築を進めていきます。

○地域公共交通の現況

- JR根室本線（利別駅、池田駅）
- 十勝バス（帯広陸別線）
- コミュニティバス（あいバス４系統）
- スクールバス（６系統）

○調査の主な内容

- コミュニティバス（あいバス）の利用データ分析
- 住民意見交換会

○地域公共交通活性化協議会開催状況

令和５年４月１２日　　第１回協議会を開催
- 委員の委嘱等、規約案、事業計画案及び予算案について

令和５年５月２４日　　第２回協議会を開催
- 公共交通アンケート結果報告、事業実施スケジュール等について

令和５年８月７日　　第３回協議会を開催
- 現況交通実態調査の結果報告、各種調査事業の方向性について

令和５年１２月２６日　第４回協議会を開催
- 各調査結果を踏まえた地域公共交通計画の方向性について
- 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

令和６年２月７日　　第５回協議会を開催
- 池田町地域公共交通計画（原案）について

令和６年３月２７日　　第６回協議記を開催
- 令和６年度における協議会副会長及び監事の指名について
- 池田町地域公共交通計画（案）について

令和６年５月２８日　　第１回協議会を開催
- 令和６年度　事業計画及び収支予算（案）について
- フィーダー系統補助に係る計画認定申請について

令和６年８月２６日　　第２回協議会を開催
- あいバスの運行内容見直しの方向性について
- 住民意見交換会の概要について

令和６年１２月２６日　第３回協議会を開催
- あいバスの運行内容見直し（案）について
- 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価（案）について

○地域公共交通の課題

- 市街地内における移動利便性の向上
- 運転手等の人材不足への対応
- 農村部から市街地までの移動手段の多様性確保
- 帯広方面へのお出かけを支える仕組みの確保
- 地域公共交通のデジタル技術への対応
- 過度な車利用からの脱却を図るための町民意識醸成

池田町地域公共交通活性化協議会　計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

○ コミュニティバス（あいバス）の利用データ分析

・コミュニティバス（あいバス）の利用者データ（R5年3月～R6年2月）の分析を実施し、バス停の利用実態を把握した。

【利用者データの分析結果】

・一日あたりの利用者が0.5人未満のバス停は、利用が非常に少なく、日によっては全く利用者がいないこともある。
・コミュニティバス（あいバス）では、このようなバス停がいくつか存在しており、ワイン城下駐車場や100年の森などが挙げられる。
・マックスバリュ前や緑苑団地など、利用が多いバス停もある。

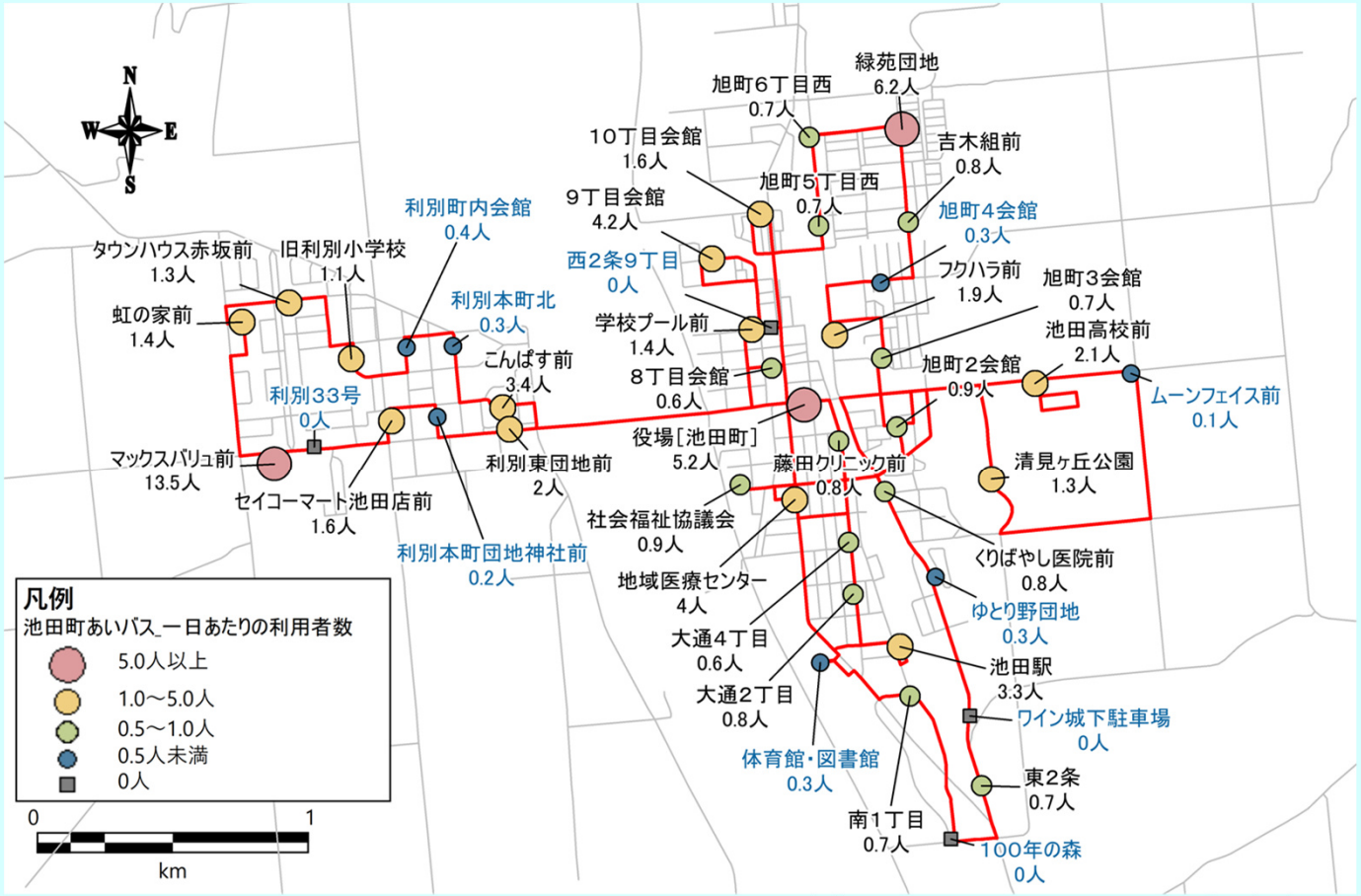
各地区で主に利用されているバス停

【池田市街地（北）】
・緑苑団地
【池田市街地（南）】
・東2条
・地域医療センター（通学利用）
【利別市街地】
・こんぱす前
・セイコーマート池田店前（通学利用）

移動先として主に利用されているバス停

●買い物
・マックスバリュ前
●病院
・地域医療センター
●その他
・役場

あいバスの利用者データに基づき、
利用頻度が高いバス停からの移動を考慮
した運行ダイヤを検討



出典：R5年3.1～R6年2.29　あいバス利用者データ

池田町地域公共交通活性化協議会　計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

○ 住民意見交換会

・コミュニティバス（あいバス）の再編案の検討に向け、町内3ヶ所での住民意見交換会を開催し、住民の利用ニーズを把握した。

実施日時		実施場所	対象者
令和６年10月25日（金）	10:30～11:30	ふれあいセンター	池田市街地（北）
	14:00～15:00		池田市街地（南）
令和６年10月28日（月）	14:00～15:00	西部地域コミュニティセンター	利別市街地

意見交換会の様子（池田市街地（北））

＜再編案に関する住民意見＞

話　題	話題が挙がった場所	対応方針
・温泉を利用する場合、往復便の運行間隔が短い	・池田市街地（北）	・温泉の利用を考慮した往復便を設定
・今までは回り方が分かりやすかったが再編後は難解	・池田市街地（北）	・利用者にとってわかりやすい回り方を考慮した運行を設定
・旭町3会館側を通過するルートが望ましい	・池田市街地（北）	・旭町3会館側を通過する運行路線を設定（現行路線と同様）
・利用したいバス停と目的地までのマイ時刻表を作成できる機会があると良い	・池田市街地（北）	・乗り方教室を開催するなど、あいバスの利用方法について周知活動を実施
・運行計画の再編後のフォロー	・池田市街地（南）	
・試乗の機会があった際にとても勉強になった	・利別市街地	

● 調査結果の内容を基に、以下の再編案を検討した。

～計画策定に向けた方針～

- ❑ シンプルな運行路線による乗車時間の短縮化
- ❑「役場」を接続拠点として、利用者にとって分かりやすいルートを検討
- ❑ 買い物や通院、温泉の利用に考慮した運行内容を設定
- ❑ 乗り方教室を開催するなど、コミュニティバス（あいバス）の利用方法について周知活動を実施

○ 地域公共交通利便増進実施計画（案）の取りまとめ

・コミュニティバス（あいバス）の再編案を検討し、池田町地域公共交通利便増進計画としての取りまとめを実施予定。

○ 協議会の開催

・コミュニティバス（あいバス）の再編案や利便増進計画案の検討・協議を主な議案とした協議会を開催（R6年度中に全4回の開催を予定）。

池田町地域公共交通活性化協議会　計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

○池田町地域公共交通計画の基本的な方針

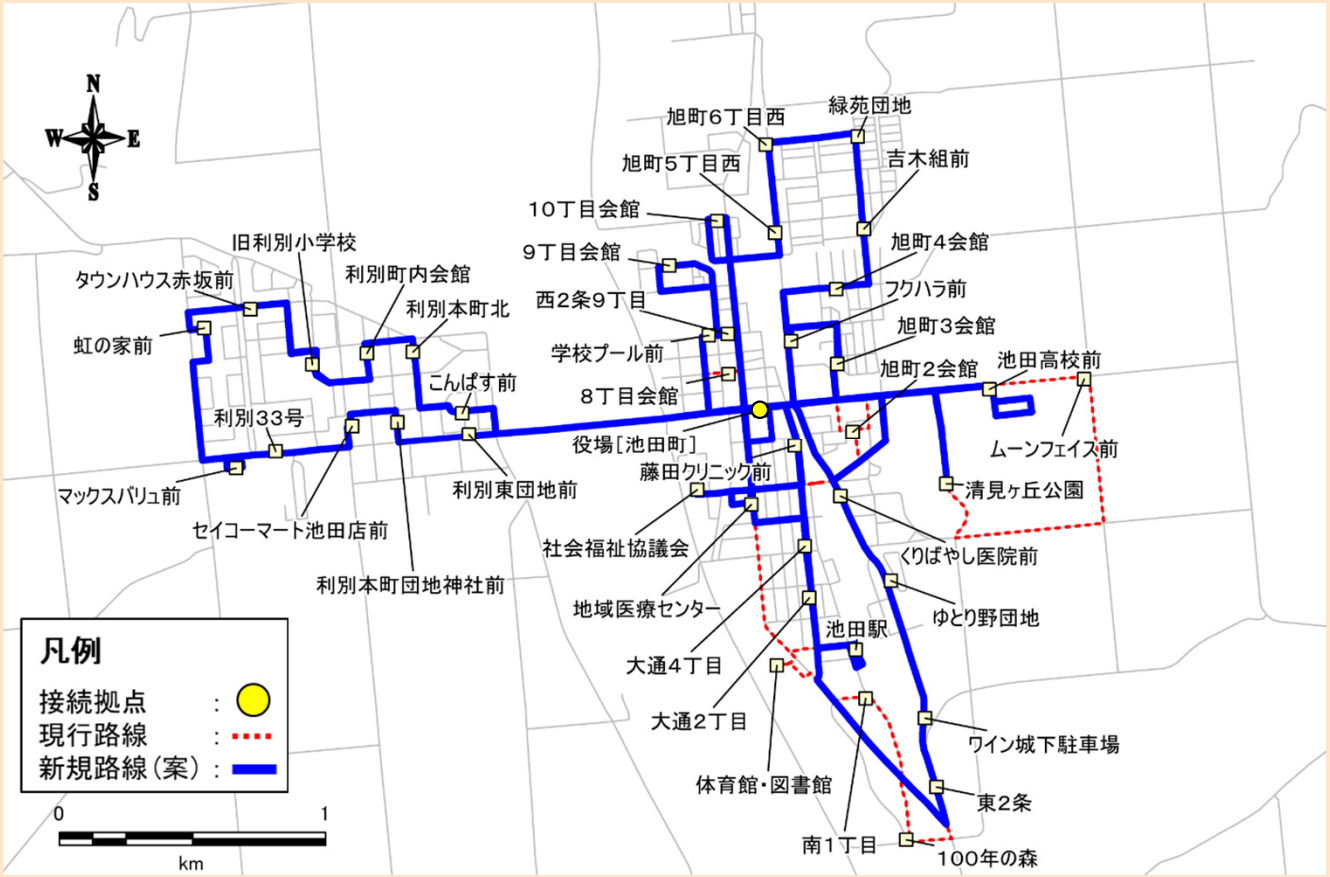
町民の暮らしをつなぎ　安全安心住みよいまちの実現に寄与する　交通を目指して

○基本目標（赤字：『池田町地域公共交通利便増進実施計画』に該当する目標）

- **Ⅰ　市街地における生活利便性向上に寄与する“あいバス”の運行内容の継続的改善**
- Ⅱ　農村部での暮らしを守るための市街地までの移動手段の多様性確保
- **Ⅲ　JRや十勝バス路線の維持確保に向けた協力体制の継続的構築**
- Ⅳ　デジタル技術も活用した利便性の高い公共交通サービスの提供
- Ⅴ　戦略的なモビリティ・マネジメントによる過度な車利用からの脱却

○利便増進実施計画に位置付ける公共交通網

【公共交通路線図】



池田町地域公共交通活性化協議会　計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

【利便増進実施計画に位置付ける主な施策】

❑ コミュニティバス（あいバス）の再編

・『役場』をコミュニティバス（あいバス）の接続拠点とし、町民の買い物や通院等の利用目的に応じた運行内容（運行経路、運行ダイヤ）を設定する。

❑あいバスの利便性向上に向けて十勝バスとの連携を検討

・十勝バスの定期券をコミュニティバス（あいバス）でも利用可能とするサービスなど、町内公共交通をより利用しやすくなる取組について、検討・実施する。

❑ 待合施設の設置検討

・役場併設の社会福祉センターの玄関ホールに椅子やテーブルを設置し、待合スペースとして活用することを検討する。

今後、具体的な時期や方法を含めた素案を作成し、協議会での検討を行う。その後、池田町地域公共交通利便増進実施計画として最終的に取りまとめを行い、令和6年度末の協議会での承認を得た後、正式に策定。また、令和7年4月に認定申請を予定。

●事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施されている。

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果（案）

運輸局記載欄